



第1号様式(第8条関係)

補助金等交付申請書

2023年5月29日

(宛先)

戸田市長

申請者

住所又は所在地

氏名又は団体名及び代表者氏名

傾聴ボランティア結(ゆい) 谷口 光弘

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	2023年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業の目的及び内容		傾聴ボランティア結の目指すことは、傾聴活動を通して住みよい地域作りを推進することです。ただ、課題は、3年間のコロナ禍によって元気なところをなくしてボランティアへの参加者が少なくなったことです。 埼玉カウンセリングセンターの高倉恵子先生に「ボランティアに役立つストレスマネジメント講座」を開設していただきストレスへの対処の仕方、ストレスとの上手な付き合い方を学び、今後のボランティア活動の推進に役立てます。	
補助事業等の効果		・ボランティア参加者の増加(約15名→約30名) ・他のボランティア団体との連携数 ゼロ→2~3団体に増加 ・地域社会で誰かに話をきいて欲しいと願う人々に対して傾聴活動を積極的に行うことができる。	
補助事業等の対象事業費			53,560円
補助金額			50,000円
補助事業等の着手年月日及び完了年月日(予定)		着手 2023年 6月 8日 完了 2024年 2月 29日	
添付書類		1 見積書等 2 2022年度の事業報告書・収支報告書 3 2023年度の事業計画書・収支予算書 4 傾聴ボランティア結(ゆい)の会則 5 傾聴ボランティア結(ゆい)の構成員名簿	

令和5年5月29日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 傾聴ボランティア結（ゆい）
 代表者職・氏名 傾聴ボランティア結（ゆい）代表
 谷口 光弘
 所在地 [REDACTED]

事業名	ボランティアに役立つストレスマネジメント講座	
SDGs の 該当ゴール	SDGs 3 「すべての人に健康と福祉を」 SDGs 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
連絡担当者	氏名	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED]
	Fax	[REDACTED]
	E-mail	[REDACTED]
ホームページ	http://todasimin.net/G0000216/	
設立年月日	平成28年9月26日 設立	
会員数	44人	
年会費	1000円/1年間	
団体の目的	傾聴ボランティア結（ゆい）は、市民の協力が必要とされる分野において、会員相互協力し、自主的に、無償で、人道的な支援をし、住みよい地域づくりを推進することを目的とする。	

<p>主な活動実績</p>	<p>(1) 傾聴・お話相手ボランティア 2016年より戸田市内7か所の高齢者施設で実施しました。各施設、毎週1回程度。コロナ禍の時期は休止していましたが、とだ優和の杜では昨年、リハビリホームまどか戸田では今年5月より再開となりました。今後、他の施設でもボランティアの受け入れが始まると予想しています。</p> <p>(2) 子育て支援ボランティア 戸田市立児童センターこどもの国ですくすくサポート(身長・体重測定)の手伝いを毎月1回しています。身長・体重測定をしながらお母さん達からお話をお聞きしています。</p> <p>(3) おしゃべりカフェゆい どなたでもホッとできるカフェゆい。レーベンホーム戸田、地域包括支援センターや民生委員の方々の協力のもと2020年3月にオープン予定でしたが、コロナ禍のため、やむを得ず中止しました。今年5月よりオープンに向け再度準備を進めます。</p> <p>(4) その他 ・まどか戸田、愛の家等の認知症カフェに参加し、入居者や地域の方々との交流を深めました(コロナ禍前)。 ・戸田市社会福祉協議会や地域包括支援センターから依頼の個人(診療内科に通っている女性、施設で周囲の人々になじめず孤立している100歳の男性)の傾聴を実施しています。 ・埼玉カウセリングセンターの高倉先生の指導のもと、さいたま市のボランティアグループとリハビリの家北浦和で足湯ボランティアを実施しました(コロナ禍前)。</p>
<p>これまでの補助金等の援助状況</p>	<p>なし</p>
<p>団体PRなど</p>	<p>結(ゆい)は2016年から高齢者施設やこどもの国で「相手の話を聴く」というボランティア活動を行っています。話し相手もなく寂しく暮らす高齢者の方々、子育ての中の悩みや不安のある方々の話をお聴きします。</p> <p>高齢者の皆さまに大変喜ばれています。話が進むにつれ、皆さんの表情は柔らかくなり、笑顔になります。別れ際にまた来てくださいねと言われると我々も笑顔になります。</p> <p>すくすくサポートの手伝いをしている結(ゆい)のメンバーは子育ての経験を持つ女性です。お母さん方の感想・意見でも「ボランティアの方たち明るく優しく接して下さり、親子ともに安心して参加できました」等をいただいています。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGsの該当ゴール：SDGs 3「すべての人に健康と福祉を」

SDGs 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

傾聴ボランティア結（ゆい）の目指すことは、傾聴活動を通して住みよい地域作りを推進することです。今までは、高齢者施設での傾聴や戸田市立児童センターこどもの国の子育て支援によって一定の成果を上げていますが、今後は地域社会で孤独を感じ、だれかに話を聴いて欲しいと願う人々を対象として傾聴活動を行っていきます。

課題は、3年間のコロナ禍の影響によって人と人との交流が少なくなり、元気な心をなくしてボランティアへの参加者が少なくなったことです。

2 事業の具体的内容

傾聴ボランティア結（ゆい）は、2016年に埼玉カウセリングセンターの高倉恵子先生の傾聴ボランティア養成講座の受講生によって結成しています。

1に記載した課題を解決するために、高倉恵子先生に“ボランティアに役立つストレスマネジメント講座”を開設していただき、ストレスへの対処の仕方、ストレスとの上手な付き合い方を学び、今後のボランティア活動の推進に役立てます。コロナ禍の課題は、他のボランティア団体にも共通ですので、講座内容の周知を社協の連絡会、TOMATO HP、会員が活動している別のボランティア団体等を通して行うと共におしゃべりカフェゆいへの参加を呼び掛けます。また、高齢者施設等で日々ストレスを受けているスタッフの方々にも講座のチラシ配布等を通して出席を呼びかけます。「SDGs3 全てのの人に健康と福祉を」の推進のために連携を図ります。

3 事業実施のスケジュール

月日	内容
2023年5月～6月	SDGs 応援補助事業の補助金申請書提出
2023年6月～7月	TOMATO ホームページ等で講座の案内 戸田市ボランティアセンター連絡会にて講座開催のお知らせ
2023年8月～9月	ボランティアに役立つストレスマネジメント講座の開講 (2時間/日×2回)
2024年3月	SDGs 応援補助事業の成果の総括

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

- ・ボランティア参加者現状約15名→約30名に増加
- ・他のボランティア団体との連携数：現状ゼロ→2～3団体に増加（2023年度後半）
- ・おしゃべりカフェゆいの開設を一か所から複数か所への足掛かりを得て、戸田市内のだれもが参加できるカフェを目指す。
- ・高齢者施設での傾聴は、施設側の要望に添って活動できる。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	講師への謝金、会場使用料等
	その他	0	
自己資金		3,560	講師への弁当・お茶、配布用資料コピー等
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		0	
その他			
合 計		53,560	

【支出】

科 目		予 算 額	内 訳	
補 助 対 象 経 費	謝礼金	40,000	20,000円/1日×2回	
	食糧費	2,000	講師の弁当、飲み物等	
	印刷製本費	1,000	2円/枚×500枚=1,000円	
	使用料	10,560	上戸田地域交流センター	
			ホール1～ホール3 =3,580円×2回=7,160円	
			キッチンスタジオ 2時間 =2,400円	
			プロジェクター500円×2回=1,000円	
小 計		53,560	内 訳	補助金申請額：50,000 自主財源： 3,560
補 助 対 象 外 経 費				
小 計				
合 計		53,560		